

2022年1月12日

各 位

株式会社福井銀行

## 「オリンピック冬季競技大会北京 2022 公式記念コイン」予約販売のご案内

株式会社福井銀行（頭取 林 正博）は「オリンピック冬季競技大会北京 2022 公式記念コイン」の予約販売を、2022年1月17日（月）から開始しますのでご案内いたします。

本記念コインは、史上初めて夏と冬の両大会のオリンピック開催都市となる北京にちなみ、オリンピック記念コインとしては初の＜金銀バイメタル貨＞が発行されます。また、本記念コインの売上の一部は、公益財団法人日本オリンピック委員会を通じ、オリンピック日本代表選手団の選手強化・派遣およびオリンピックムーブメント推進等の一助として役立てられます。

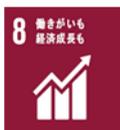
### 記

1. 取扱コイン      オリンピック冬季競技大会北京 2022 公式記念コイン
2. 取扱期間        2022年1月17日（月）～2月4日（金）
3. 取扱店舗        福井銀行 全営業店（ふくぎんプラザ・ジュラチック王国支店を除く）
4. 輸入元          泰星（たいせい）コイン株式会社
5. 種類・販売金額（消費税込）

種 類	販 売 金 額	日本での割当枚数
金銀バイメタル貨	770,000 円	400 枚
金貨 2 種セット	253,000 円	450 セット
ホログラム銀貨 4 種セット	52,800 円	1,100 セット

- ・各商品すべてに特製ケースと発行証明書をお付けいたします。
- ・商品のお引渡しは3月上旬の予定です。
- ・数量限定のため、取扱期間中であっても限定数に達した時点で、販売を締め切らせていただきます。

### 6. 該当するSDGsの目標



福井銀行グループは、2018年12月に「SDGs宣言」を表明いたしました。SDGsの考え方を経営戦略の軸に組み込み、銀行業を通じて持続可能な社会の実現に努めてまいります。

以 上



<報道用資料>

2022年1月12日  
泰星コイン株式会社

## オリンピック記念コイン史上初、“金銀”バイメタル貨が登場！ 「氷」を模したユニークなカプセル入り金貨や色が変わるホログラム銀貨も 「オリンピック冬季競技大会北京2022公式記念コイン」

1月17日(月)より、全国の主要金融機関で予約販売開始

泰星コイン株式会社(本社:東京都中央区/社長:岡 政博)は、「オリンピック冬季競技大会北京2022公式記念コイン」を、1月17日(月)より全国の主要金融機関で予約販売を開始いたします。

本記念コインでは、史上初めて夏と冬の両大会のオリンピック開催都市となる北京にちなみ、オリンピック記念コインとしては初の<金銀バイメタル貨>(注1)が発行されます。同コインには、両大会で使用される2会場や「万里の長城」がデザインされています。また、氷を模したユニークな鑑賞用カプセル入りの<金貨2種セット>や、4つの競技を躍動的に表現した<ホログラム銀貨4種セット>の3商品をラインアップします。

税込価格は、<金銀バイメタル貨>が770,000円、<金貨2種セット>が253,000円、<ホログラム銀貨4種セット>が52,800円。本記念コインの売上の一部は、公益財団法人日本オリンピック委員会を通じ、オリンピック日本代表選手団の選手強化・派遣及びオリンピックムーブメント推進等の一助として役立てられます。

### ■オリンピック記念コイン史上初の「金銀バイメタル貨」

純金と純銀で構成された豪華な「バイメタル貨」が登場。金と銀のバイメタル貨は、夏・冬を通じてオリンピック記念コイン史上初(注2)となる希少性の高いものです。両大会で会場となる「国家体育场」(通称:鳥の巣)と「国家水泳センター」(通称:ウォーターキューブ)、そして中国を代表する世界遺産「万里の長城」が描かれています。

### ■中国の伝統的なモチーフや冬の風物詩を描いた金貨2種

<スキー金貨>は、スキーを楽しむ子供が、中国伝統の切絵細工「剪纸」風に描かれています。<スケート金貨>は、北京市民のポピュラーなウィンタースポーツであるスケートを楽しむ家族が繊細なタッチで描かれています。

### ■フィギュアスケートなど4競技を躍動的に表現したホログラム銀貨

<ホログラム銀貨>は、フィギュアスケート、アイスダンス、ショートトラック、フリースタイルスキー、バイアスロンの4つの競技をデザイン。それぞれ、薄水色を基調に、色彩が見る角度によって変化する「ホログラム加工」が施され、ダイナミックな動きやスピード感が表現されています。

### ■氷を模したカプセルなどユニークな鑑賞ケースも

「氷」のキューブを模したカプセル入りの<金貨2種セット>や、全ての鑑賞ケースにはリサイクル素材が使用され、内部にLEDによるライトアップが施されるなど、コインだけでなくカプセルやケースにも工夫が凝らされています。

### ■全種純度99.9%(純金・純銀)の高品位

バイメタル貨、金貨、銀貨は全て純度99.9%。オリンピック競技大会記念コインにふさわしい高品位となっています。

(注1) バイメタル貨は、偽造防止技術として複数の種類の金属を合成した硬貨で、日本で2021年11月より発行されている「新500円硬貨」にもこの技術が使われています。

(注2) オリンピック記念コインは、1952年のヘルシンキ大会以来毎回発行されていますが、「金銀バイメタル貨」は今回が初となります。金銀以外のバイメタル貨は、2016年リオデジャネイロ大会などで発行されました。



紹介動画



上段/金銀バイメタル貨(原寸大)  
中段/金貨2種セット(氷型カプセル入り) 下段/ホログラム銀貨



## 販売概要

### 税込価格■

- A.金銀バイメタル貨 . . . . . 770,000円(限定400枚)
- B.金貨2種セット . . . . . 253,000円(限定450セット)  
 <スキー金貨 / スケート金貨>
- C.ホログラム銀貨4種セット . . . . . 52,800円(限定1,100セット)  
 <①ショートトラック銀貨 ②アイスダンス銀貨 ③フリースタイルスキー銀貨 ④バイアスロン銀貨>

※いずれも税込価格です。  
 ※各商品すべてに特製ケースと発行証明書を付けてお渡します。

### 規格および発行限度数■

	発行国	額面	品位	重量	直径	状態	発行限度数	対日割当数
A	中国	500元	金99.9% 銀99.9%	42g (金30g+銀12g)	45mm	プルーフ	10,000枚	400枚
B	中国	80元	金99.9%	5g	20mm	プルーフ	各40,000枚	各450枚
C	中国	5元	銀99.9%	15g	33mm	プルーフ	各80,000枚	各1,100枚

※プルーフとは、観賞用に美しく磨かれた鏡面仕上げのことです

- 予約販売期間■ 2022年1月17日(月)～2月4日(金) ※期間内でも限定数に達した時点で終了
- 鑄造・発行■ 中国人民銀行
- 総発売元■ 中国金幣総公司
- 輸入元■ 泰星コイン株式会社
- 販売窓口■ 全国の主要金融機関 ※詳細はP7をご覧ください。

### 本件に関するお問い合わせ先

「オリンピック冬季競技大会北京2022公式記念コイン」事務局 (泰星コイン内)  
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル2階  
 TEL. 03-6735-2106 担当/大村、本田  
 FAX. 03-6735-2107 E-mail: business@taiseicoins.com  
 URL: <https://www.taiseicoins.com>

商品画像がダウンロードできます \* 当社サイトの下記バナーよりアクセスできます。どうぞご利用ください。

泰星コイン top ページ ▶



報道者様向け  
ダウンロードはこちら

▶ 画像を選択しダウンロード



## 商品の一覧

### A. 金銀バイメタル貨

770,000円(税込)

限定400枚

品位: 金99.9% / 銀99.9%

重量: 42g(金30g+銀12g)

直径: 45mm 状態: プルーフ



### B. 金貨2種セット

253,000円(税込)

限定450セット

品位: 99.9% 重量: 5g 直径: 20mm

状態: プルーフ



### C. ホログラム銀貨4種セット

52,800円(税込)

限定1,100セット

品位: 99.9% 重量: 15g 直径: 33mm

状態: プルーフ





## デザインと解説 金銀バイメタル貨・金貨

### A. 金銀バイメタル貨

裏面



史上初めて夏と冬の両大会のオリンピック開催都市となる北京。その象徴的なモチーフとして2008年と2022年の両大会で会場となる「国家体育场」(通称:鳥の巣)と「国家水泳センター」(通称:ウォーターキューブ)が、万里の長城から連なるように描かれています。右縁の目盛は、両大会の繋がりを表現しています。

表面



金の中央部分には、漢字の「冬」をモチーフにした公式エンブレムがカラーで描かれています。また銀の周辺部分には、雪の結晶や中国を代表する世界遺産「万里の長城」が精緻に描かれています。



上/「国家体育场」(通称:鳥の巣)  
下/「国家水泳センター」(通称:ウォーターキューブ)

### B. 金貨2種セット

〈スキー金貨〉裏面



スキーを楽しむ子供が、中国の伝統的な切り絵細工「剪纸」風に、鮮やかな朱色で描かれています。背景には中国の家屋を想起させる窓格子と、中国で冬場によく食べられる柿が繊細かつ柔らかなタッチで描かれています。

〈スケート金貨〉裏面



スケートを楽しむ四人の家族が描かれています。北京市には一般開放されているスケートリンクが数多くあり、週末には多くの市民で賑わっています。柔らかな絵画風のタッチで、仲睦まじい家族の雰囲気表現されています。

共通表面



金銀バイメタル貨と同様、中央部分には公式エンブレムがカラーで描かれています。また周辺部分には、雪の結晶や「万里の長城」が刻まれています。



万里の長城



## デザインと解説 ホログラム銀貨

### C.ホログラム銀貨4種セット

共通表面



<ショートトラック銀貨>裏面



※金貨の説明をご参照ください

<アイスダンス銀貨>裏面



ホログラム加工

ホログラム加工

スピードスケート種目の一つであるショートトラック競技のコーナーリングで駆け引きする選手が多層的に描かれています。また効果線やアクセントとして淡い水色の「ホログラム加工」が複数箇所へ施され、スピード感や躍動感が表現されています。



フィギュアスケート種目の一つで、氷上の社交ダンスとも呼ばれるアイスダンスのシーンを描いています。背景には男性と女性の横顔やスピンをする選手のシルエットなどのモチーフが描かれているほか、右上のホログラム加工が優雅さを引き立てています。

<フリースタイルスキー銀貨>裏面



ホログラム加工

<バイアスロン銀貨>裏面



ホログラム加工

スキー・フリースタイル種目で、ダイナミックな空中技を披露する選手が描かれています。背景にはゴーグルをした選手の横顔をコーラージュしています。またホログラム加工による円弧のグラフィックが回転の躍動感を演出しています。



クロスカントリースキーとライフル射撃を組み合わせる競技「バイアスロン」で、クロスカントリーを行う選手が大きく描かれています。背景には競い合う選手のシルエットや射撃を行う選手の横顔のアップ、山並み、ホログラム加工が施された森林などが描かれています。





(参考)

## オリンピック冬季競技大会北京2022について

### ■大会概要

開催地: 中国・北京  
 開催日: 2022年2月4日～2月20日  
 実施競技・種目: 7競技109種目

### ■公式エンブレム

アーティストのリン・クンツェンがデザインしたもので、中国文化の伝統的な要素と現代的な要素、そしてスポーツの情熱と活力を表現しています。「冬」という漢字からインスピレーションを得て、上部はスケーターを、下部はスキーヤーをイメージしています。その間に流れるリボンのモチーフは、なだらかな山々、オリンピック会場、スキーコース、スケートリンクを象徴しています。エンブレムに使用されている青色は、夢、未来、氷や雪の純粋さを表し、中国の国旗の色である赤と黄色は、情熱、若さ、活力を象徴しています。



### ■競技種目一覧・日程

競技種目一覧・日程	2022年2月																		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
開・閉会式				●															●
アイスホッケー										●	●			●	●	●	●	●	●
アルペンスキー					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カーリング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クロスカンリースキー				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ショートトラック				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スキージャンプ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スケルトン									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スノーボード				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スピードスケート				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ノルディック複合				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
バイアスロン				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
フィギュアスケート			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
フリースタイルスキー		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ボブスレー												●	●	●	●	●	●	●	●
リュージュ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

● 競技実施日 ● メダル確定日 ※日程は変更される場合があります。

## オリンピック記念コインの誕生について

第二次世界大戦後に開催された1952年「第15回ヘルシンキオリンピック」。開催国のフィンランドは、戦後の復興を成し遂げた記念という意義を込めて開催されたオリンピック競技大会で、世界初となるオリンピック記念コイン「ヘルシンキ大会記念500マルッカ銀貨」を発行しました。

1964年「第18回オリンピック東京大会」では、日本で最初の記念コインとなった100円と1000円の銀貨が発行されました。発行枚数1,500万枚の1000円銀貨(100円銀貨発行枚数は8,000万枚)はすぐに品切れとなり、発行による収益は大会運営費に充てられました。この成功がきっかけとなり、その後の1968年メキシコオリンピックでも記念銀貨が大量に発行されました。

以降、オリンピックの開催ごとに記念コインが発行され、その収益が大会運営費に充てられることが定着化しました。



“日本初の記念コイン”オリンピック東京大会  
1000円銀貨と100円銀貨



ヘルシンキ大会記念  
500マルッカ銀貨



## 販売窓口

都市銀行	りそな銀行、埼玉りそな銀行	(2)
地方銀行	足利銀行、伊予銀行、岩手銀行、大垣共立銀行、関西みらい銀行、三十三銀行、四国銀行、清水銀行、十六銀行、スルガ銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、中国銀行、筑波銀行、東北銀行、富山銀行、八十二銀行、百五銀行、百十四銀行、広島銀行、福井銀行、北陸銀行、北海道銀行、北國銀行、武蔵野銀行、山梨中央銀行	(26)
第二地方銀行	愛知銀行、愛媛銀行、香川銀行、京葉銀行、高知銀行、東和銀行、徳島大正銀行、栃木銀行、富山第一銀行、東日本銀行、みなと銀行	(11)
労働金庫	全国の労働金庫各支店(一部地域を除く)	